

団体名	東京海洋大学						
事業名	日本文化「和食(魚食)」と防災を学ぶ ー養殖・港湾・加工・流通・六次産業化・火山防災の現場体験を通じてー						
実施期間	2018年9月5日～6日						
場 所	東京海洋大学大泉ステーション 他						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	28		6		5		39名

### <実施内容>

平成30年9月5日(水)～6日(木)に、本学が有する養殖施設の大泉ステーション(山梨県北杜市)を拠点に、「養殖魚文化」等をめぐる体験型・発信型ワークショップを実施した。参加学生達は、2日間のプログラムを通して、地域の防災の歴史と和食文化について学習した。

1日目は、まず、日本の火山防災や自然災害の歴史学習を目的として、台風災害により壊滅的な被害にあった際の資料を展示している「いやしの里根場」の見学、「山梨県富士山科学研究所」における火山の成り立ちや防災についての学習を行った。その後、東京海洋大学大泉ステーションにおいてニジマスやイトウ等の養殖施設を見学し、ステーション内の会場において、留学生と日本人学生との異文化交流ワークショップを実施し交流を深めた。

2日目は、神奈川県小田原市においてかまぼこちくわの手作り体験を実施し、日本の伝統文化である水産加工食品の生産現場と食品衛生管理体制について学習した。また、関東地域の魚食文化を支える小田原漁港と、貴重な歴史文化遺産である小田原城を見学し、普段の大学生活では学ぶことのできない日本の歴史や食文化に対する理解を深めた。

今回の事業には10カ国の留学生28名に加えて、異文化交流に関心のある日本人学生6名も参加し、1日目の最後に異文化交流ワークショップを開催し、学習成果の振り返りを行った。本事業では34名の参加者を5つのグループに分け、各グループに日本人学生を配置して留学生に対する通訳や引率のサポートをしてもらうことで、学生間の異文化交流についても推進した。

実施後のアンケートでは、約95%の参加者が交流できたと回答し、100%の学生が本事業に満足したと回答し、大変有意義な活動となった。

### <記録写真>



火山に関する学習の様子



養殖施設見学



かまぼこ手作り体験

### <参加者からのコメント>

ラジブ ロチャン ホウデルさん(ネパール)/Mr. Rajib Lochan Poudyal (Nepal)    ラウ リツ ミンさん(マレーシア)/Mr. Lau Lik Ming (Malaysia)

私は、日本人と交流したり、文化や歴史を学ぶためにバスツアーに参加しました。  
台風災害で被害を受けた「西湖いやしの里」では、当時の壊滅的な状況を知り災害の恐ろしさを感じたが、現在は観光地として復興しているのを見て日本人の努力に感動しました。  
また、富士山科学研究所で日本の象徴である富士山が噴火するかもしれないというお話を聞いてとても驚きました。  
養殖などの研究を行っている「大泉ステーション」では、淡水魚の繁殖や飼育方法など最新の研究のお話を聞きました。ネパールでも淡水魚がメインになっているため、この技術を持っていけたらなと大変興味深かったです。  
バスでの移動時間は長かったですが、この時間に日本人とたくさんお話ができて仲良くなれました。最終日に訪れた小田原では、みんながかまぼこを作ったり、小田原城で写真を撮ったりといい思い出が出来ました。  
このバスツアーに参加して、日本人や世界中から来た留学生と交流が出来て仲良くなれました。大学内の知り合いが増えたことで、研究や授業で困ったときに相談しやすくなりました。

Participation in bus tour allows me to learn something new not only in natural disaster awareness but also in Japanese aquaculture. I think what impressed me the most were the visit to Mount Fuji Research Institute and fish artificial breeding project. The natural disaster prevention talk deepens my understanding of the emergency measures to protect from natural disaster while staying in Japan. The artificial breeding project benefited me to master a new skill in the aquaculture field for my future prospects.